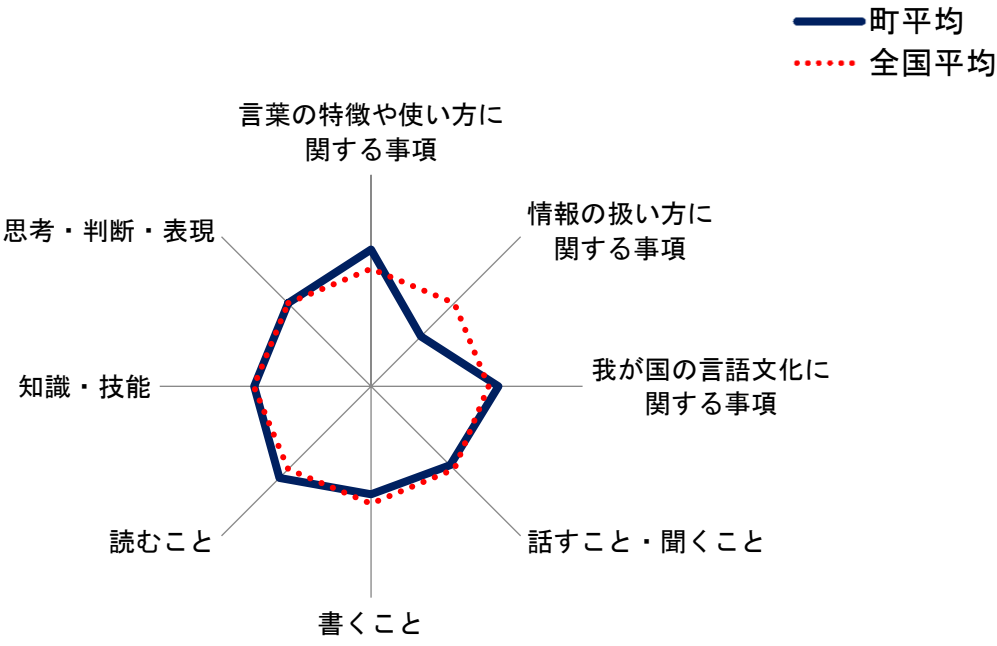
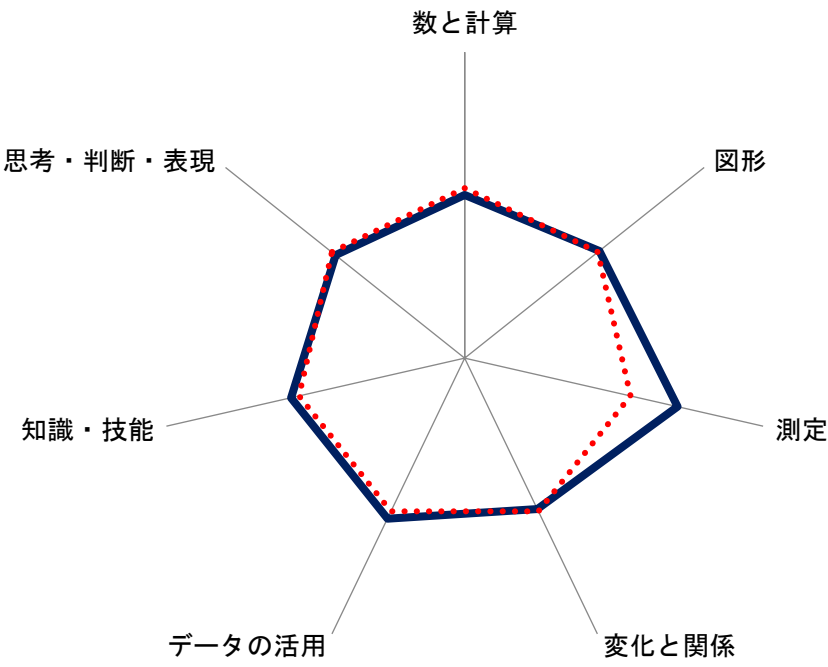


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

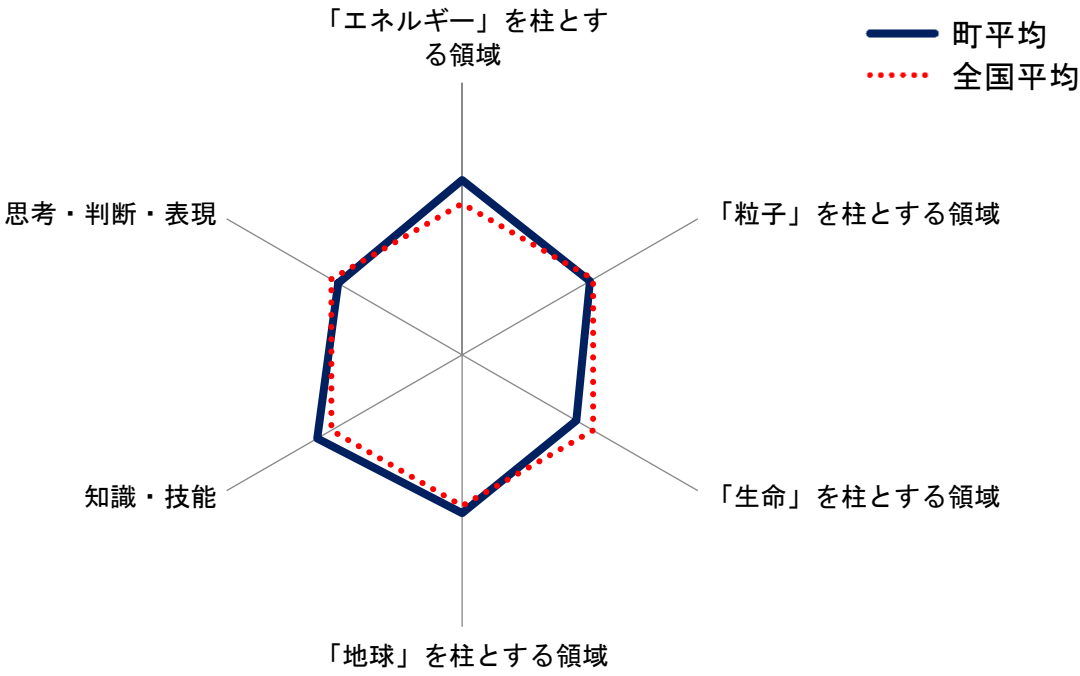


【算数】

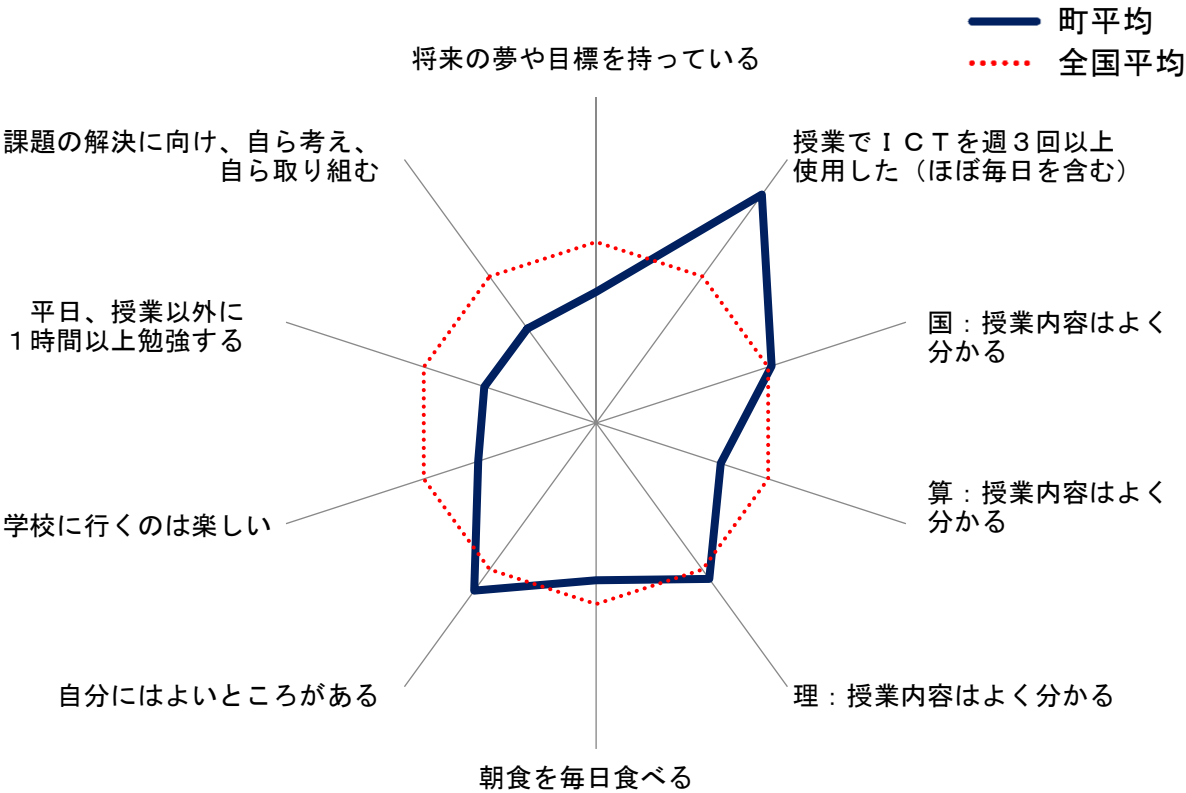


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、算数の「測定」の項目、理科の「『エネルギー』を柱とする領域」が全国平均を大きく上回っている。一方、国語の「情報の使い方に関する事項」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題である。今後も、町教科等委員会による「分かる授業、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を意識した研修や、市独自の複式授業における指導をより一層充実させることで、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図っていくことが望まれる。

児童質問調査では、「自分にはよいところがある」の項目が全国平均を上回っている。一方、「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」「平日、授業以外に1時間以上勉強する」「学校に行くのは楽しい」、算数の「授業内容はよく分かる」の項目が全国平均を大きく下回っており、課題が見られる。今後も、児童が主体的に学びを進めることができる教育活動を中心に据え、魅力ある学校づくりを推進していくとともに、家庭学習の充実を図る取組を継続して実施していくことが望まれる。